

# キッズピッチ 利用マニュアル



JFA x 日本財団  
子ども未来プロジェクト



# ごあいさつ

公益財団法人日本サッカー協会

会長 宮本恒靖



この度は、日本サッカー協会（JFA）と日本財団との連携事業「JFA×日本財団 子ども未来プロジェクト」で進めている「キッズピッチ」の事業に賛同いただきましたことを心から御礼申し上げます。

子どもの体力は1985年頃をピークにその後は低下傾向にあります。スポーツ庁が公開した2024年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では、中学生男子ではコロナ禍前の水準に戻ったものの、小学生男子と中学生女子では前年度からほぼ横ばい、小学生女子は過去最低を更新しました。

運動習慣のない子どもたちの体力・運動能力の低下が見られる一方で、スポーツ教室やクラブチームなどでスポーツをしている子どもは高い運動能力を維持しており、「運動習慣の二極化」が進んでいることが浮き彫りになりました。

子どもたちの遊びが変化していることも理由に挙げられますが、もう一つ、体験格差の問題があります。日本の子どもの相対的貧困率は10%以上、9人に1人の子どもが貧困状態にあると言われており、経済的な理由でスポーツから疎外されている子どもたちが少なからずいます。

JFAは2024年、障がい者やLGBTQ+、人種、貧困など、社会的な権利や恩恵が十分にえられていない人々を含むあらゆる人々に対してサッカーに親しめる多様な機会と選択肢を届けようと「アクセス・フォー・オール宣言」を行いました。このキッズピッチも子どもたちが年齢や発達の違い、障がいの有無、国籍や経済格差などに影響されることなくスポーツを楽しむ多様な機会を届けることにつながると信じています。

JFAが2023年から実施している「子どもパブリックコメント」でも「サッカーができる場所を作ってほしい」という要望が届いています。そういった子どもたちの声に応えるためにもこのキッズピッチをできるだけ多くの場所に設置し、子どもたちがスポーツを通じて助け合い、尊重し合い、困難に負けずに挑戦していけるよう後押ししていきたいと考えています。

キッズピッチが、子ども同士の交流を育む場として継続して運営されるとともに、地域の人々が集い、語り合う地域コミュニティの一つになることを願っています。

# 目次

- キッズピッチの特長 . . . P. 4
- 安全に使用するために . . . P. 6
- 組み立て方 . . . P. 11
- キッズピッチ活用のポイント . . . P. 24
- よくある Q & A . . . P. 31
- セーフガーディングポリシー . . . P. 39
- 問い合わせ先 . . . P. 40



※本ページ以降、©表記がない写真はすべて©JFA/PR

# キッズピッチの特長

# キッズピッチの特長

ソフト面

多目的な活用

コミュニティ  
創出・活性化

ハード面

組み立て・  
持ち運びが簡単

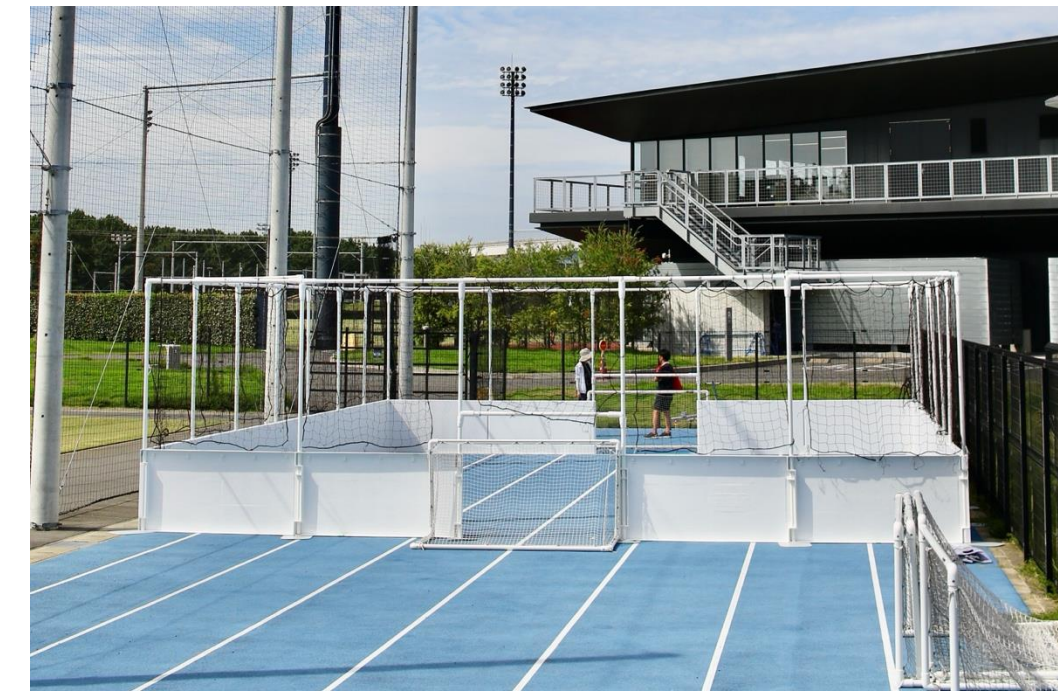
金属不使用中で  
錆びない

**安全に使用するために**

# 安全に使用するために

## 製品仕様

大きさ	幅9m × 奥行12.6m × 高さ2.8m
重さ	パネル：15kg /枚 支柱足：4.3kg /個 支柱足（ゴール用）：1.8kg /個
材質	FRP（繊維強化プラスチック）



# 安全に使用するために

## 1. 設置場所の制限

### <禁止>

- 平坦でない場所
- 一般の道路や駐車場、建設現場など、人や車両の通行により危険が生じる場所
- キッズピッチからボールが飛び出すリスクを考慮した際に安全が確保できない場所

### <注意が必要>

- 地面がコンクリートなど硬い素材の場所では厚みのある人工芝を敷くなど、子どもたちの安全の確保が必要。

# 安全に使用するために

## 2. 組立/解体時の注意

- 設営現場には**設営者以外は入れない**（支柱が転倒して人に当たるのを避ける為）。
- 上部の作業（ネットのはめ込み等）の際は、バランスを崩して脚立から転落しないように注意する。
- 不安定なため、**立てたパネルの上に乗って作業をしない**。
- 組立はコーナー部分から行い、組み上げた部材が転倒しないようにする。

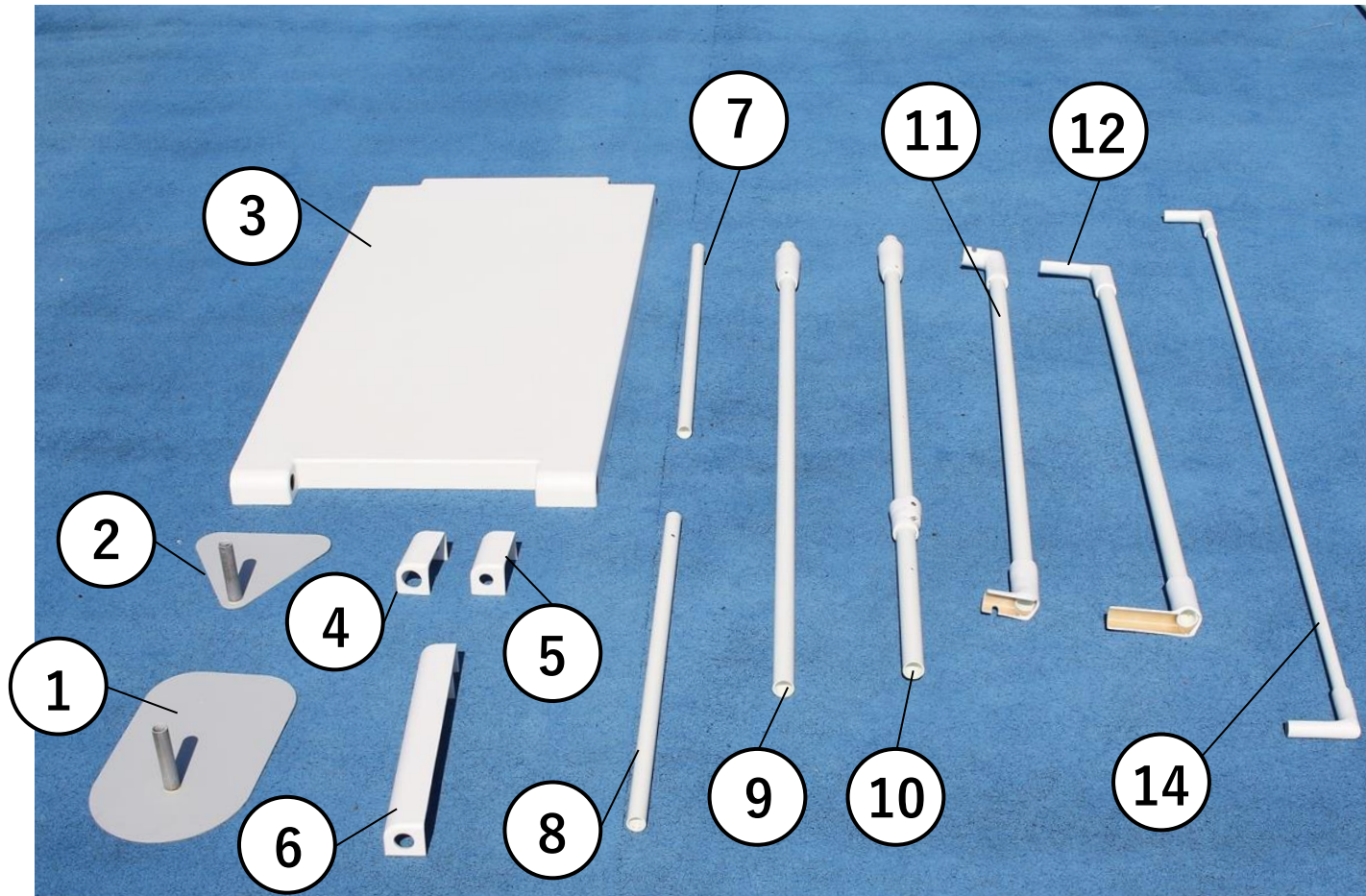
# 安全に使用するために

## 3. 使用時の注意

- 強風や大雨による洪水などでキッズピッチが飛ばされたり流される可能性がある場合は、事前に移動または室内へ収納する。
- 落としたり、硬いものにぶついたりなどの突発的な衝撃を与えないようにする。
- パネルやネットの状態、パネルと支柱足のゆがみ、各部品の接続部分などに故障がないか日々確認し、必要に応じてメンテナンスを行う。

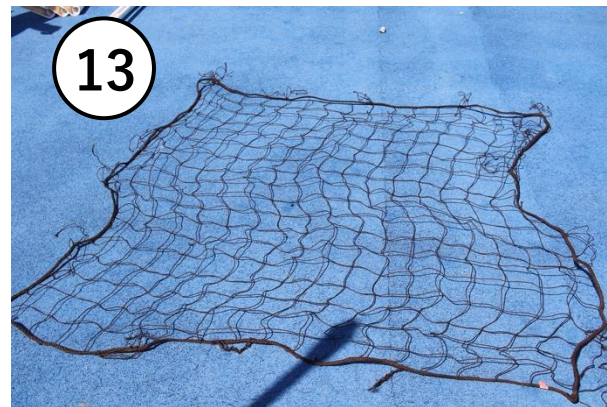
# 組み立て方

# パーツリスト



※似ている部品に注意

- [ ⑦ 穴がない
- [ ⑧ 穴がある
- [ ⑪ 両端の部品が短い
- [ ⑫ 両端の部品が長い



番号	名称	個数
①	支柱足	20
②	支柱足 (ゴール用)	4
③	パネル	22
④	ポストカバー (小-上)	2
⑤	ポストカバー (小-下)	2
⑥	ポストカバー (大)	2
⑦	パネル柱	20

番号	名称	個数
⑧	パネル柱 (ゴール用)	4
⑨	フェンス柱	20
⑩	フェンス柱 (ゴール用)	4
⑪	クロスバー	2
⑫	フェンスバー	24
⑬	ネット	24
⑭	筋交い	4

# 組み立てに必要な道具

## 1. 軍手

- ・安全確保の為、滑り止め付きの軍手を推奨する。

## 2. 運動靴

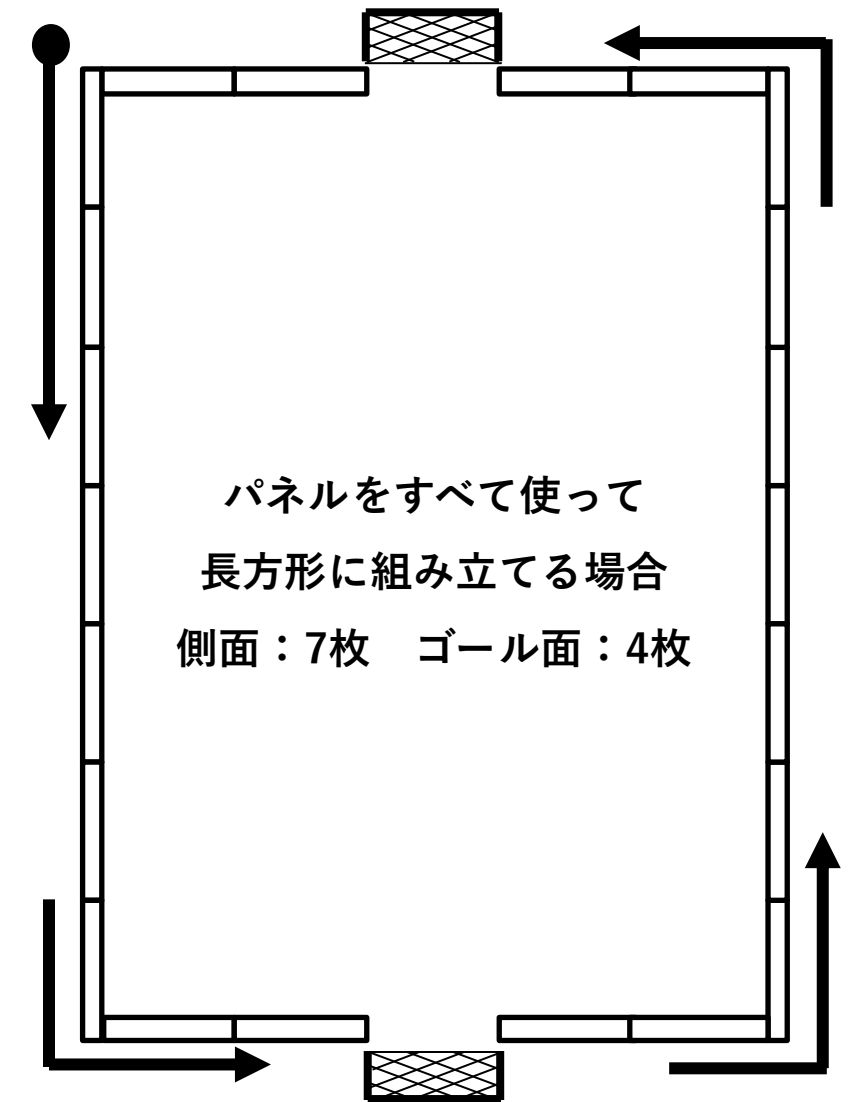
- ・動きやすい運動靴の着用を推奨する。
- ・安全確保の為、サンダルでの作業は行わない。

## 3. 脚立

- ・2m以上のものを推奨する。
- ・複数台あると、同時作業が可能となり効率的である。

# おすすめの組み立て方

1. 最初に角（コーナー）を決め、パネルを組み立てる。
2. その角から、側面→ゴール面→側面→ゴール面と一方向にパネルを組み立てる（右図参照）。
  - \* ゴール部分の幅はクロスバーの長さで確保しておく。
  - \* 同時に別の人員がフェンスバーにネットを装着する作業を進めておくと効率的に進行できる（右下図参照）。
3. フェンス柱をすべて差し込み、ゴール部にクロスバーを取り付ける。
4. フェンス柱の上にフェンスバーを差し込み、ネットをパネルのフック（ゴール部はクロスバー）に固定する。
5. 四隅に筋交いを取り付ける。



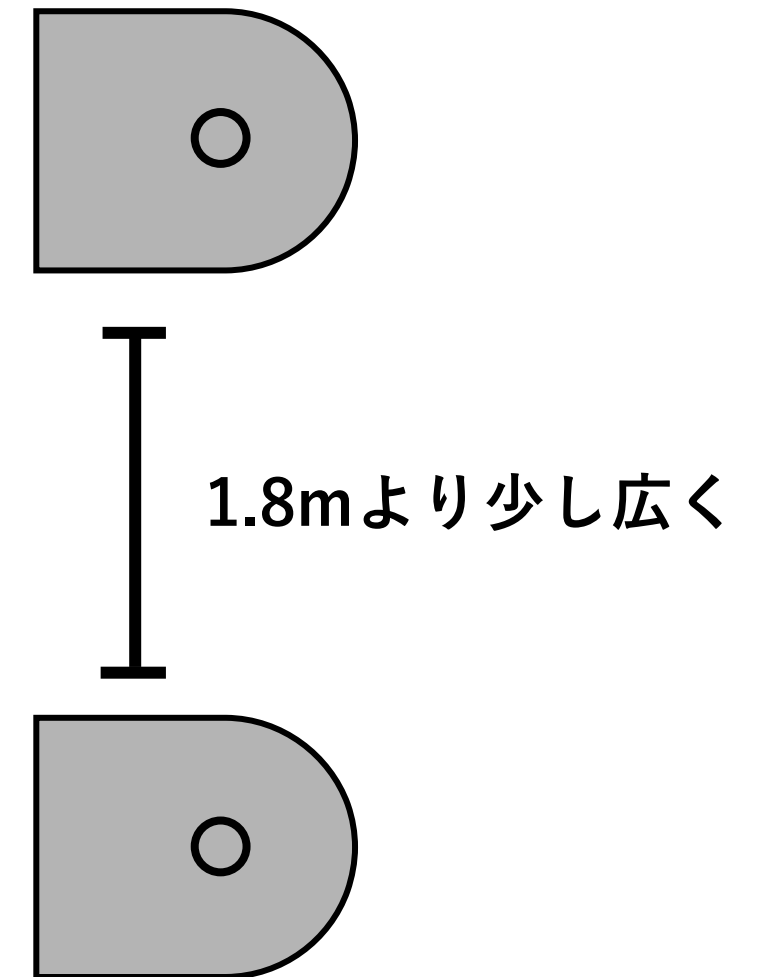
# 組み立て手順1-1：パネルを組み立てる

使用パーツ：①支柱足

- キッズピッチのコーナー位置を決定し、最初の支柱足を置く。
- 隣の支柱足は1.8mより少し間隔を空けて置く。



- 夏季など気温の高い日は支柱足が高温になっていることがある為、取り扱い時に十分に注意する。



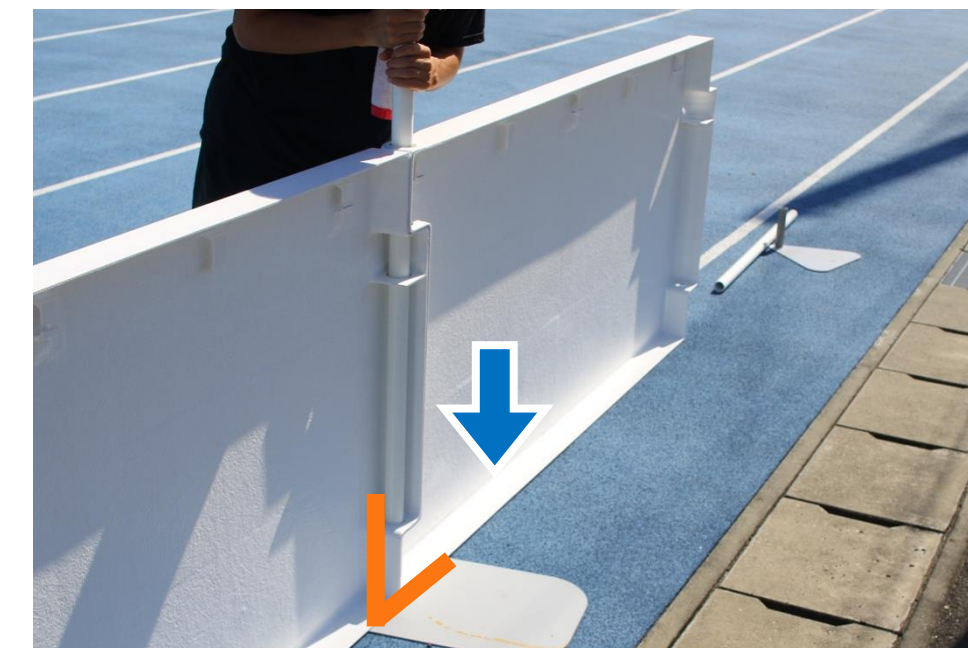
# 組み立て手順1-2：パネルを組み立てる

使用パーツ：①支柱足・③パネル・⑦パネル柱

- 支柱足にパネルの凹側の下をはめ込む。  
\* パネルはフックがある方を上にする。  
\* パネルは持ち上げ、支柱足の真上からはめ込む。
- 隣のパネルを寄せて凹を凸に重ね、穴を揃える。
- パネルを重ねた箇所にパネル柱を差し込む。



- 指を挟む原因になるため、パネルの穴が重なっている箇所は触らない。



パネル柱は支柱足まで差し込む。

# 組み立て手順1-3：パネルを組み立てる

使用パーツ：①支柱足・③パネル・⑦パネル柱

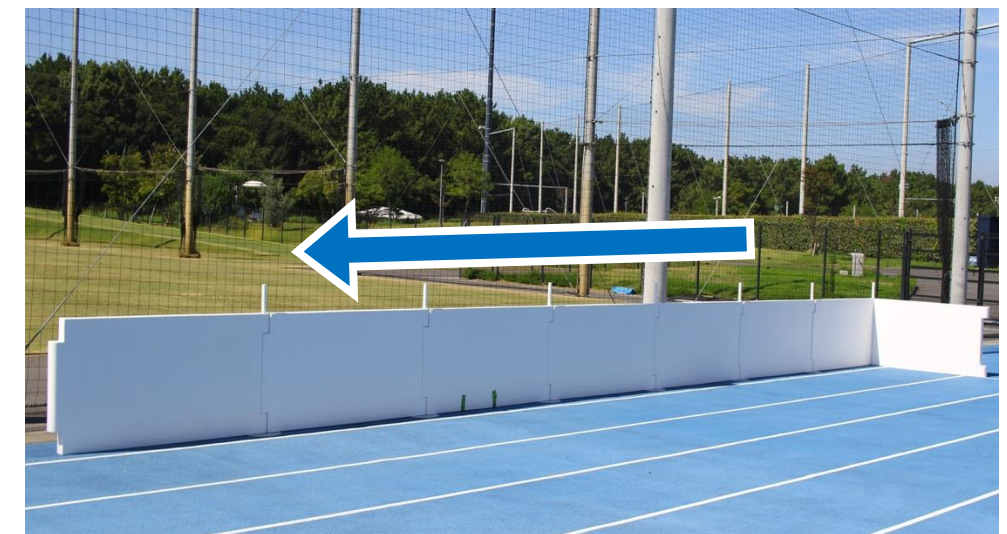
- 手順1-1、1-2を繰り返し、パネルを希望の形状に連結していく。



- パネル柱が差し込みにくい場合に無理やり押し込むと、欠けの原因になるので注意する。
- パネルの凸側を持ち上げたり、パネルを前後に傾けるなどして両パネルを水平にし、穴の位置を正確に合わせてから差し込む。



パネルを安定させるために、コーナーから組み上げる。



コーナーから一方向で1周するように組み立てていく。

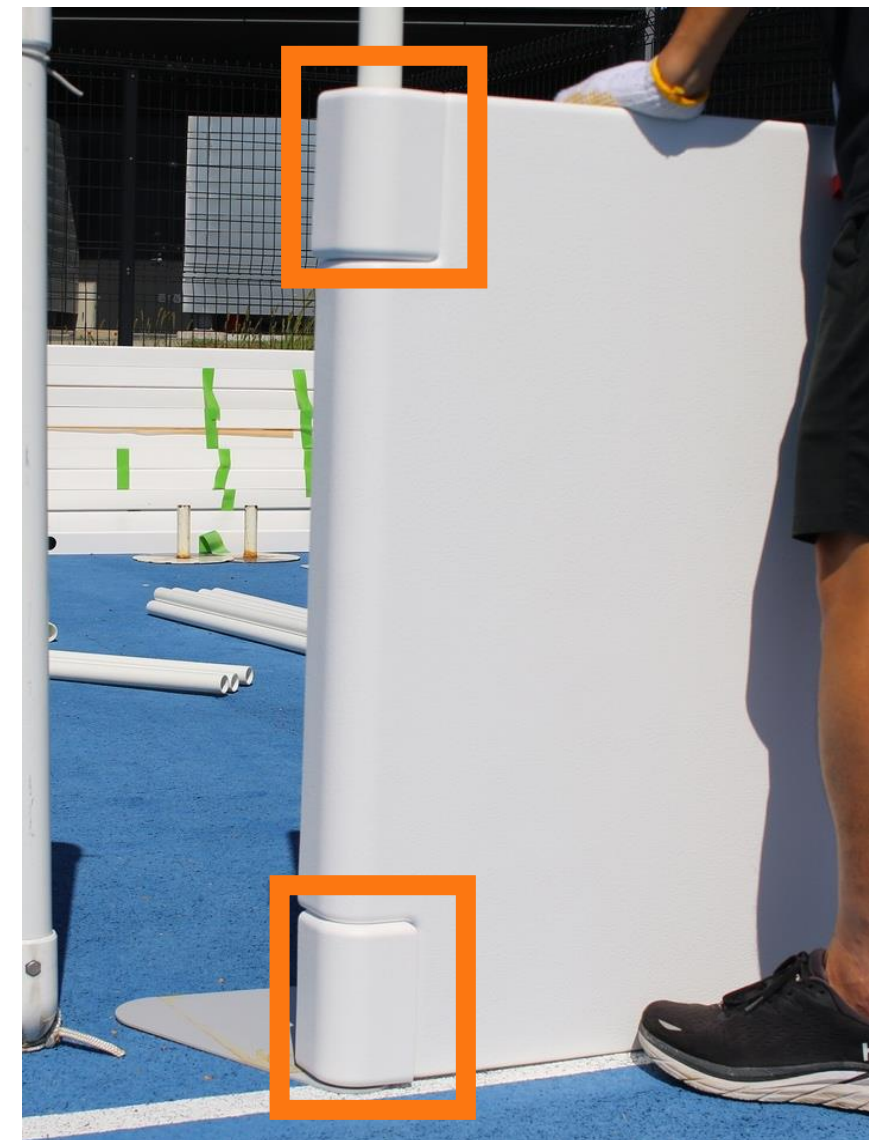
## 組み立て手順2-1：ゴールポスト部分のパネルを組み立てる

使用パーツ：①支柱足（ゴール用）・③パネル・④ポストカバー（小-上）  
⑤ポストカバー（小-上）・⑧パネル柱（ゴール用）

- ゴールポスト部分には、ゴール用の支柱足（三角形）とゴール用のパネル柱（側面の穴が上）を使用する。
- パネルははめ込まず、ポストカバーをはめ込む。

### <凸側>

- 上から、**ポストカバー（小-上）** → パネル凸部  
→ **ポストカバー（小-下）** → 支柱足の順にはめ込み、  
パネル柱を上から差し込み、固定する。



## 組み立て手順2-2：ゴールポスト部分のパネルを組み立てる

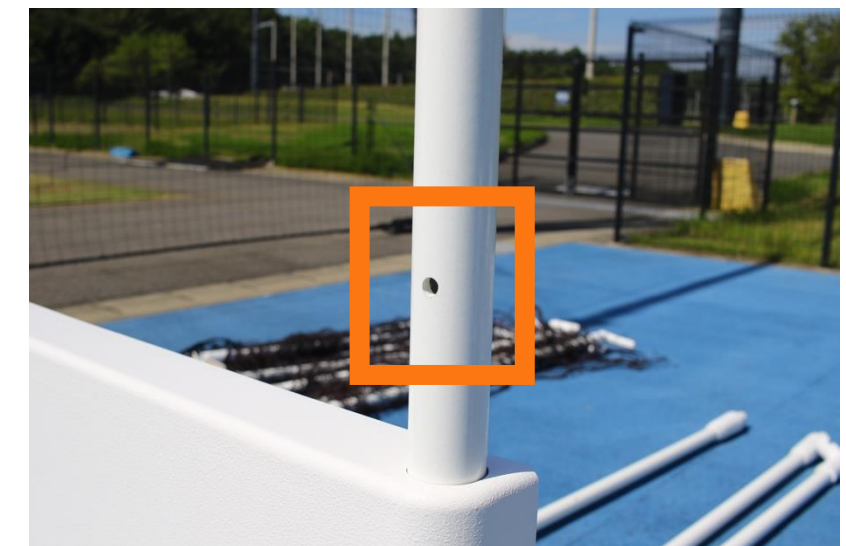
使用パーツ：①支柱足（ゴール用）・③パネル・⑥ポストカバー（大）  
⑧パネル柱（ゴール用）

### <凹側>

- 上からパネル凹部 → **ポストカバー（大）** → パネル凹部  
→ 支柱足になるようにはめ込み、パネル柱を上から差し込み、固定する。

\* ポストカバー（大）は中板が上になるようにはめ込む。

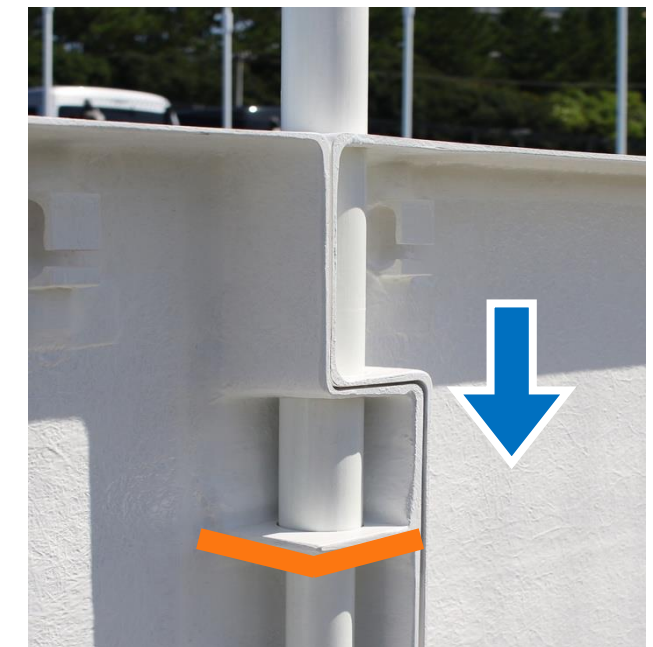
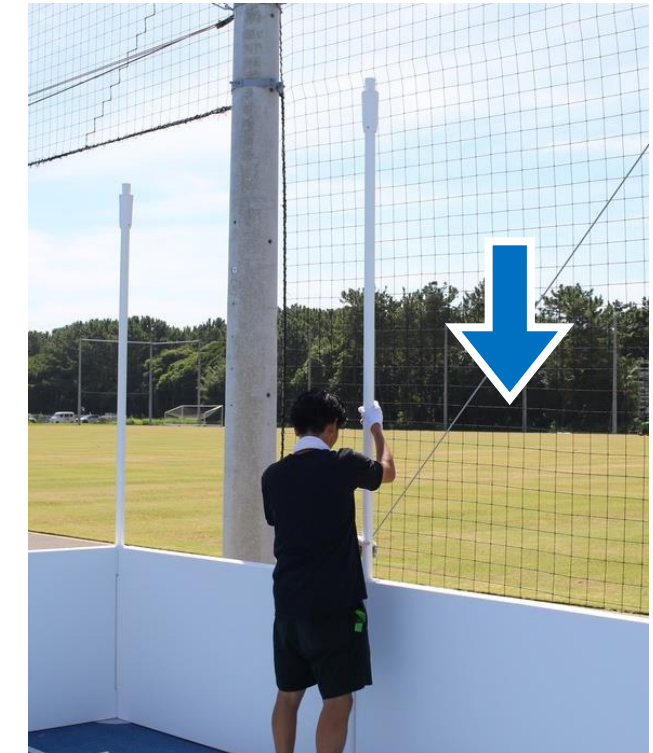
- 凸側・凹側両方のパネル柱を回して、**側面の穴**が正面と背面を向くように調整する。



# 組み立て手順3：フェンス柱を立てる

使用パーツ：⑦パネル柱・⑧パネル柱（ゴール用）・⑨フェンス柱  
⑩フェンス柱（ゴール用）

- フェンス柱をパネル柱に差し込む。
- ゴールポスト部分には、ゴール用のフェンス柱を使用する。
- フェンス柱は、パネルの上部4分の1にある **中板** に当たるように差し込む。

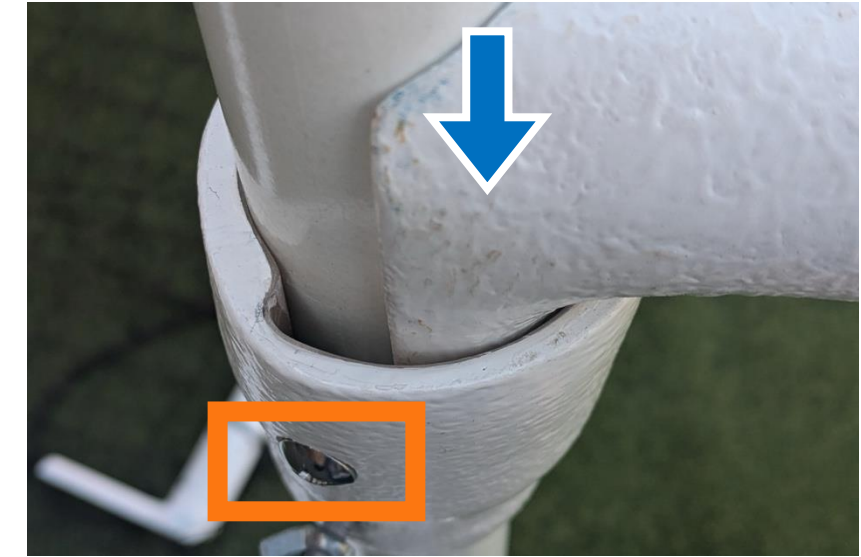


- 指を挟む恐れがある為、差し込む時はパネルの穴やパネル柱には触れない。

# 組み立て手順4：クロスバーをつける

使用パーツ：⑩フェンス柱（ゴール用）・⑪クロスバー

- ゴール用のフェンス柱とクロスバー受けの穴にボルトを通し、蝶ナットで締めてクロスバー受けを取り付ける。
  - \* ゴール用のフェンス柱には3か所穴があり、高さを1.1m、1.3m、1.8mに設定可能。
  - \* 蝶ナットは観客側に向くようにする。
- クロスバーをクロスバー受けに差し込む。
  - \* その際、クロスバー受けの中の **金具** を避ける。
- フェンス柱を回し **金具** をクロスバーの窪みに入れて固定する。



金具を避けてクロスバーを差し込む。

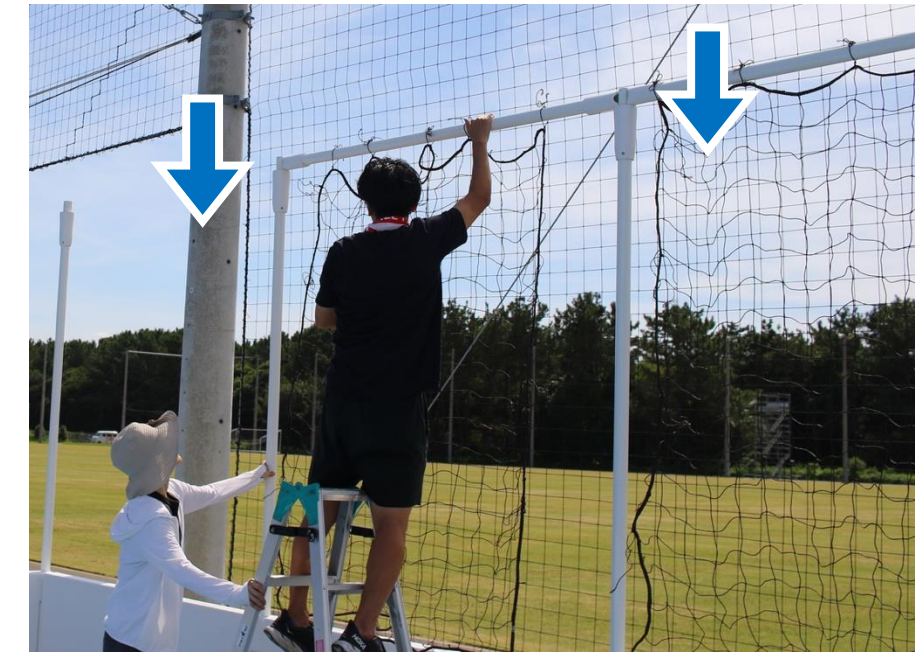


クロスバー受けを回して金具をクロスバーにはめ込む。

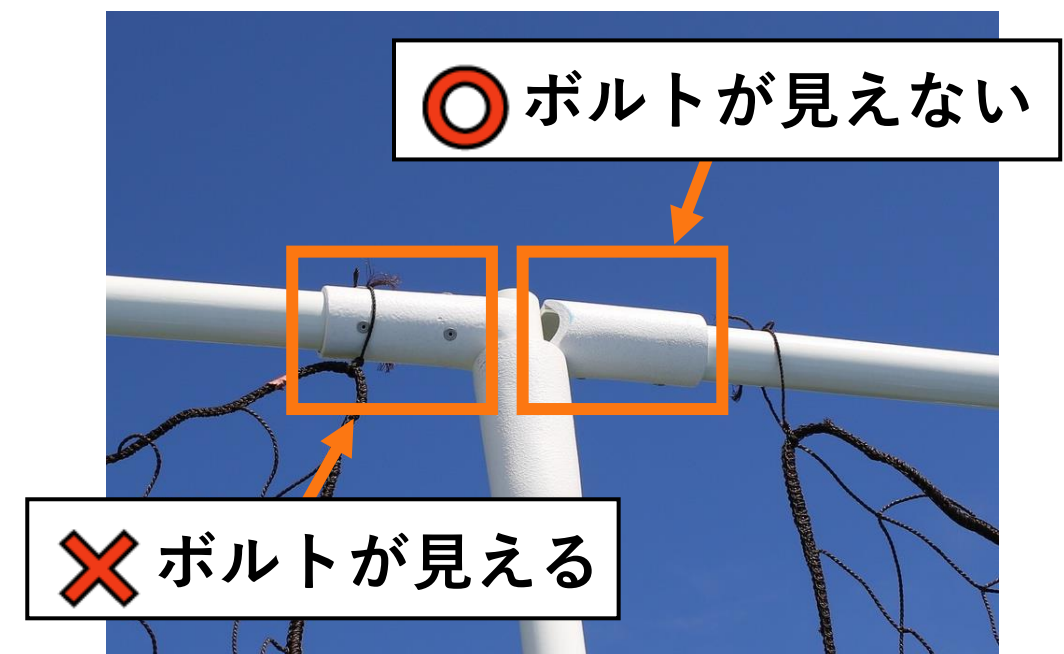
# 組み立て手順5：フェンスバーとネットをつける

使用パーツ：⑪クロスバー・⑫フェンスバー・⑬ネット

- ・ フェンスバーにネットを装着する。
- ・ フェンスバーをフェンス柱の上部に差し込む。  
\* ボルトがコートの外側を向くように差し込む。



- ・ フェンスバーは必ず脚立を使用して差し込む（パネルに乗らない）。
- ・ フェンスバーにネットを巻き付けている場合は、ネットを伸ばしてから差し込む。

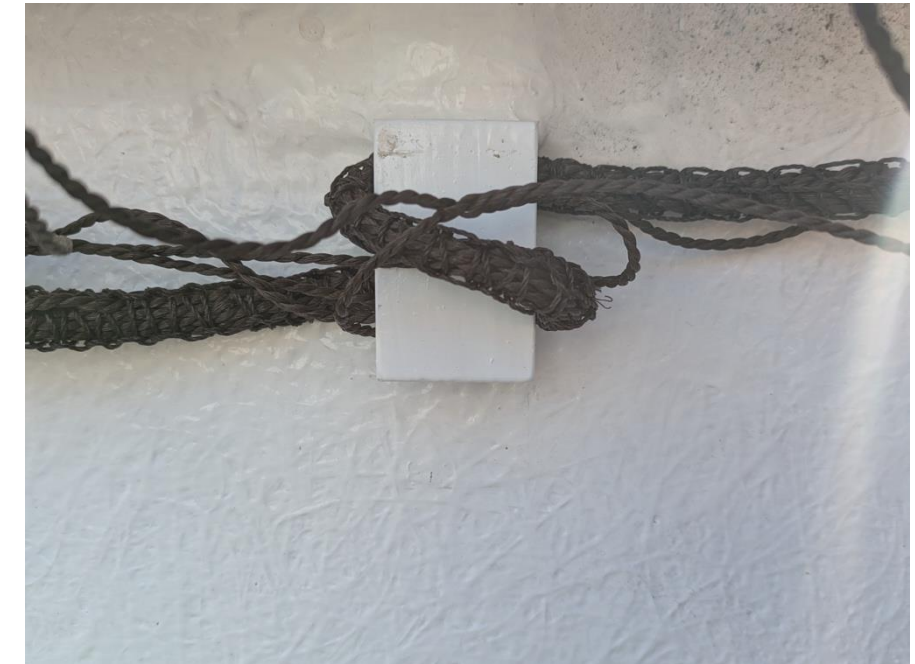


コート内から見た差し込み部

# 組み立て手順6：ネットを固定する・筋交いをつける

使用パーツ：③パネル・⑪クロスバー・⑬ネット・⑭筋交い

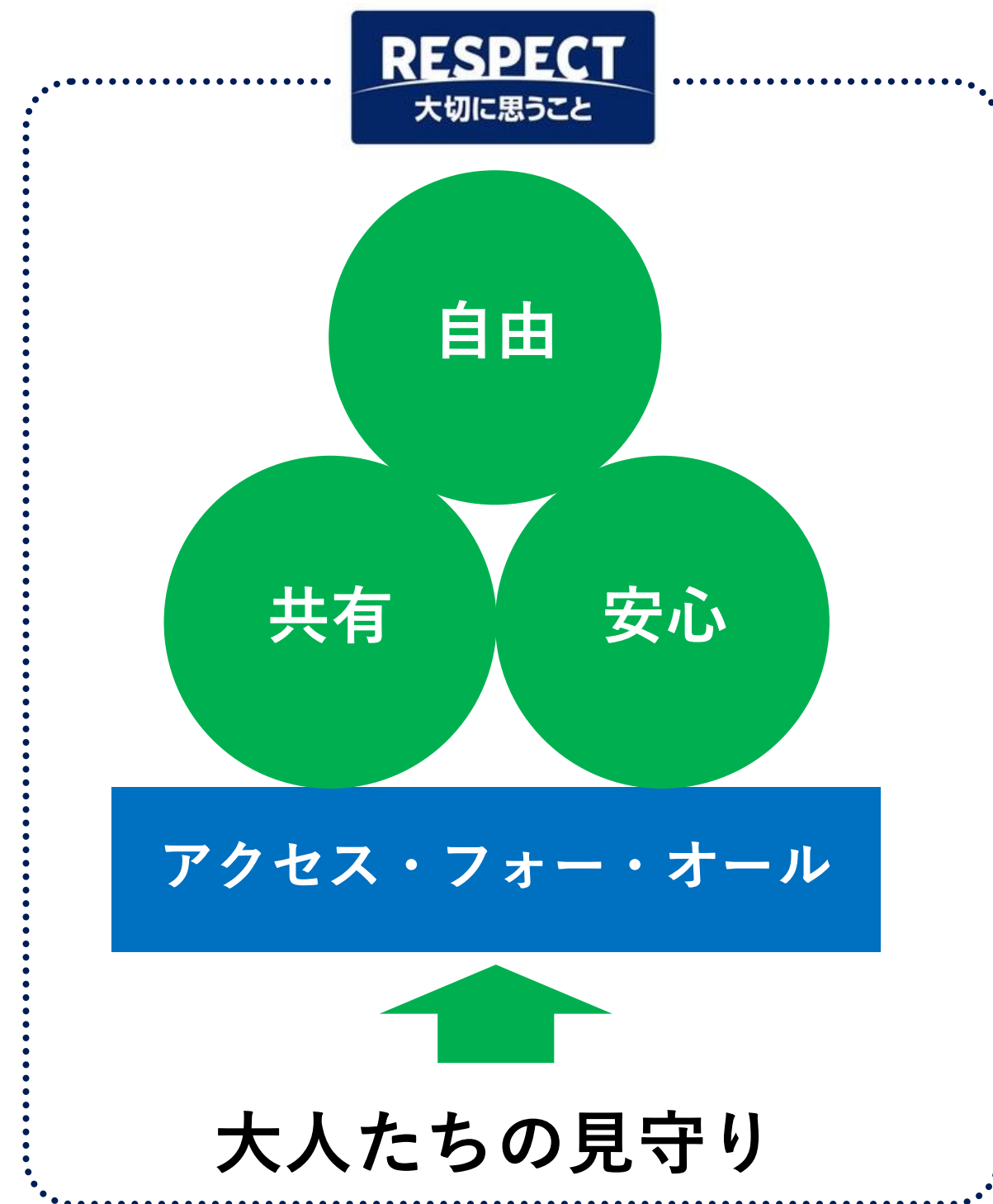
- ネット下部をパネル上部のフックにかけて固定する。
- ゴール上のネットはクロスバーに結んで固定する。
- 四隅に筋交いを装着する。



- 筋交いは必ず脚立を使用して差し込む（パネルに乗らない）。

# キッズピッチ活用のポイント

# キッズピッチ活用のポイント ～子どもたちが健やかに育つ環境づくり～



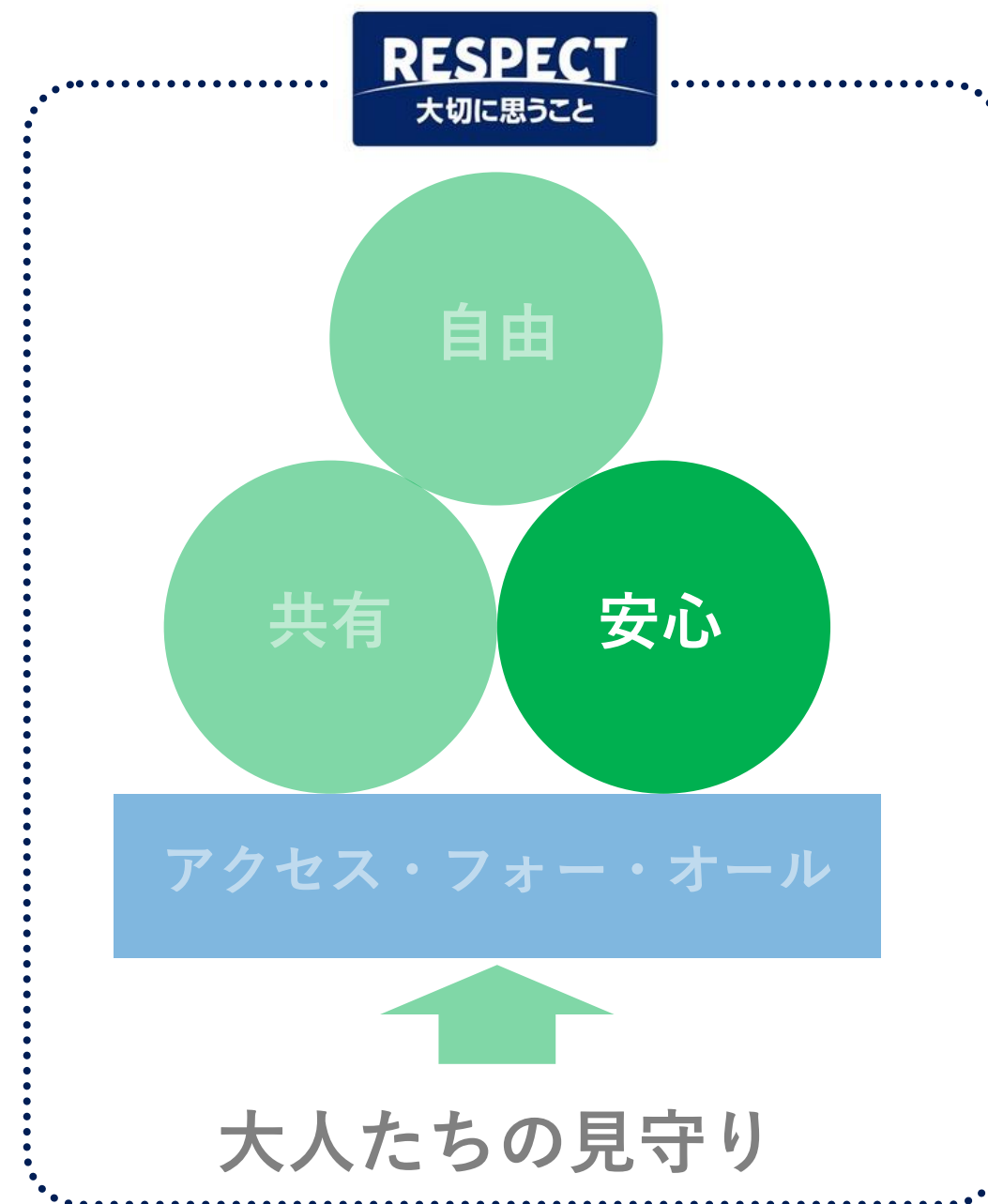
キッズピッチを活用し、スポーツを通じて子どもたちが健やかに育つためにより良い環境をつくりましょう。

キッズピッチは子どもたちが「安心」して集い、「自由」に遊べる場所です。また、他者と分かち合って利用するなかで「共有」の概念を学ぶ機会にもなります。

そのために、年齢、性別、国籍、障がい、経済的格差の有無にかかわらず、誰もがサッカーやスポーツを楽しめる機会を届ける「アクセス・フォー・オール」の考えを大切にします。

そして、キッズピッチおよびコミュニティを運営する大人たちの見守りの姿勢は、子どもたちにとって良い環境の基盤をつくります。

# 安心



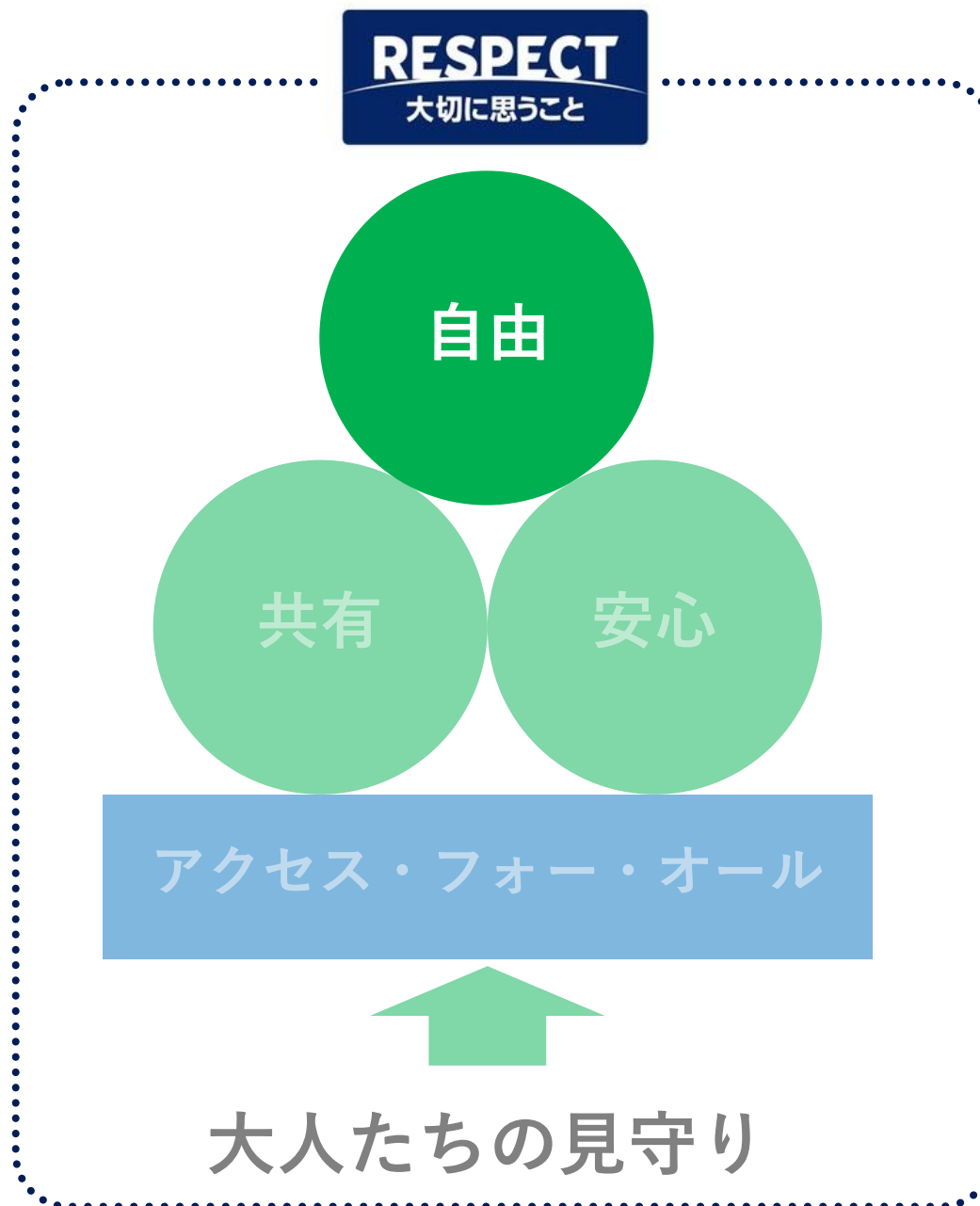
子どもたちの遊び場であるキッズピッチにおいて、「安心」して利用できることは何よりも重要です。

事故を未然に防ぐため、運営者による日々のメンテナンスや、定期的な利用ルールの見直しなどを適切に行いましょう。

## ✓ 【チェックポイント】

- 安全のための利用ルールが利用者に周知徹底されている。
- 点検項目を定め、日常的にメンテナンスを行っている。
- 万一の事故に備え、迅速に対応する仕組みと体制を整えている。
- 適切な保険（スポーツ安全保険、施設賠償責任保険等）へ加入している。

# 自由



キッズピッチは、子どもたちが自由に遊べるよう、主体性に委ねた運営を推奨します。

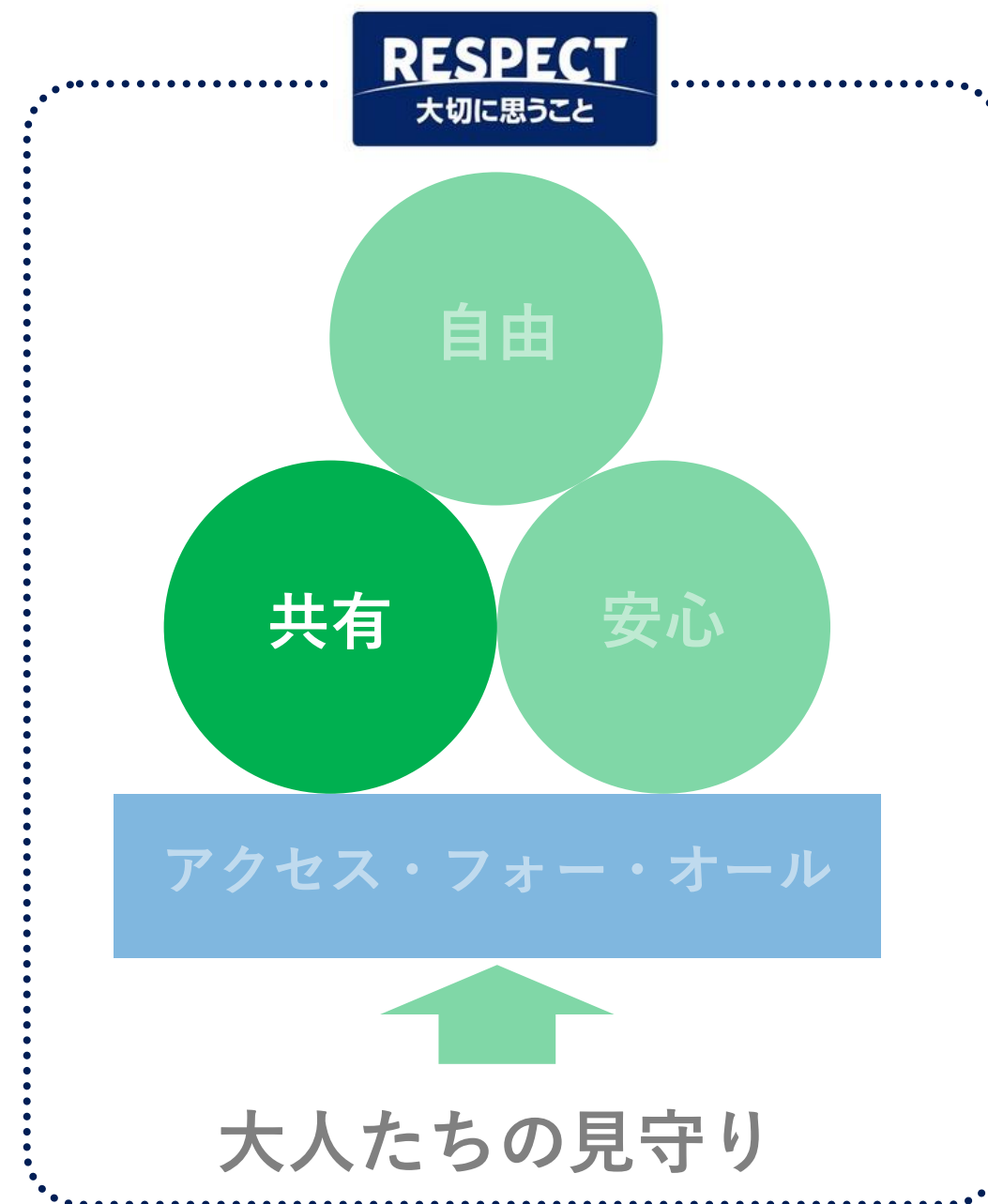
多くの規則で縛るのではなく、最低限のルールに留め、それが地域や利用者に伝わるように工夫しましょう。

原則として無料で利用でき、イベントなどを企画できる仕組みづくりをすることで、キッズピッチはより自由な場になります。

## ✓ 【チェックポイント】

- 無料で利用できるよう常設・開放している。
- ルールは最低限に留め、子どもたちの主体性を尊重している。
- 地域の人がイベントなどを企画できる仕組みがある。

# 共有

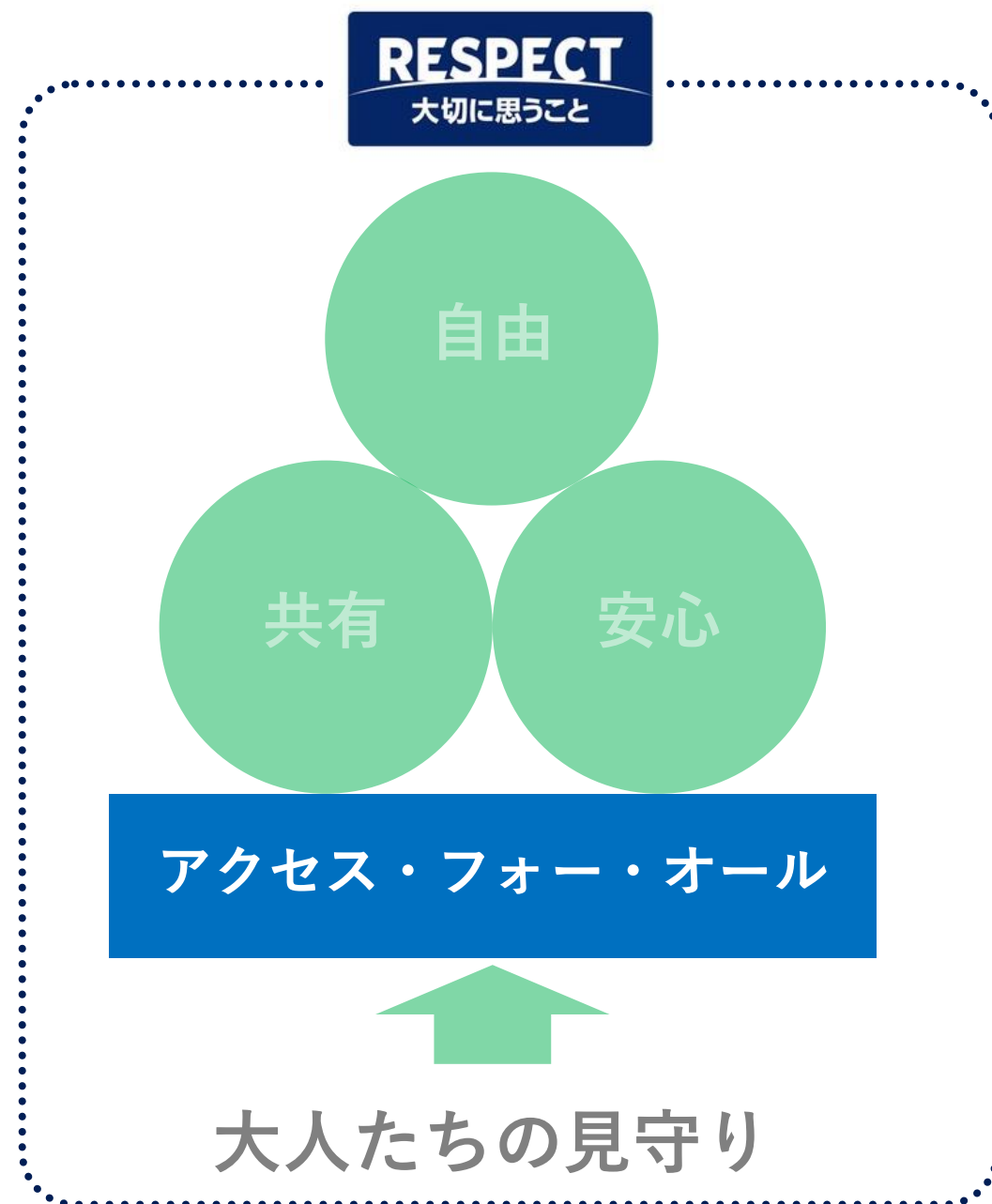


キッズピッチは地域に開かれ、人々に共有されることで、その効果をより発揮します。

複数の利用者グループが場を分かち合いながら利用する仕組みを整えましょう。エリア分けや「一緒に遊ぶ」ことを推奨することで、子どもたちにとって、コミュニケーションや他者への配慮を学ぶ機会となります。

- ✓ 【チェックポイント】
  - エリア分けや譲り合いの仕組みがある。
  - 利用者同士の交流を促す仕組みや機会がある。

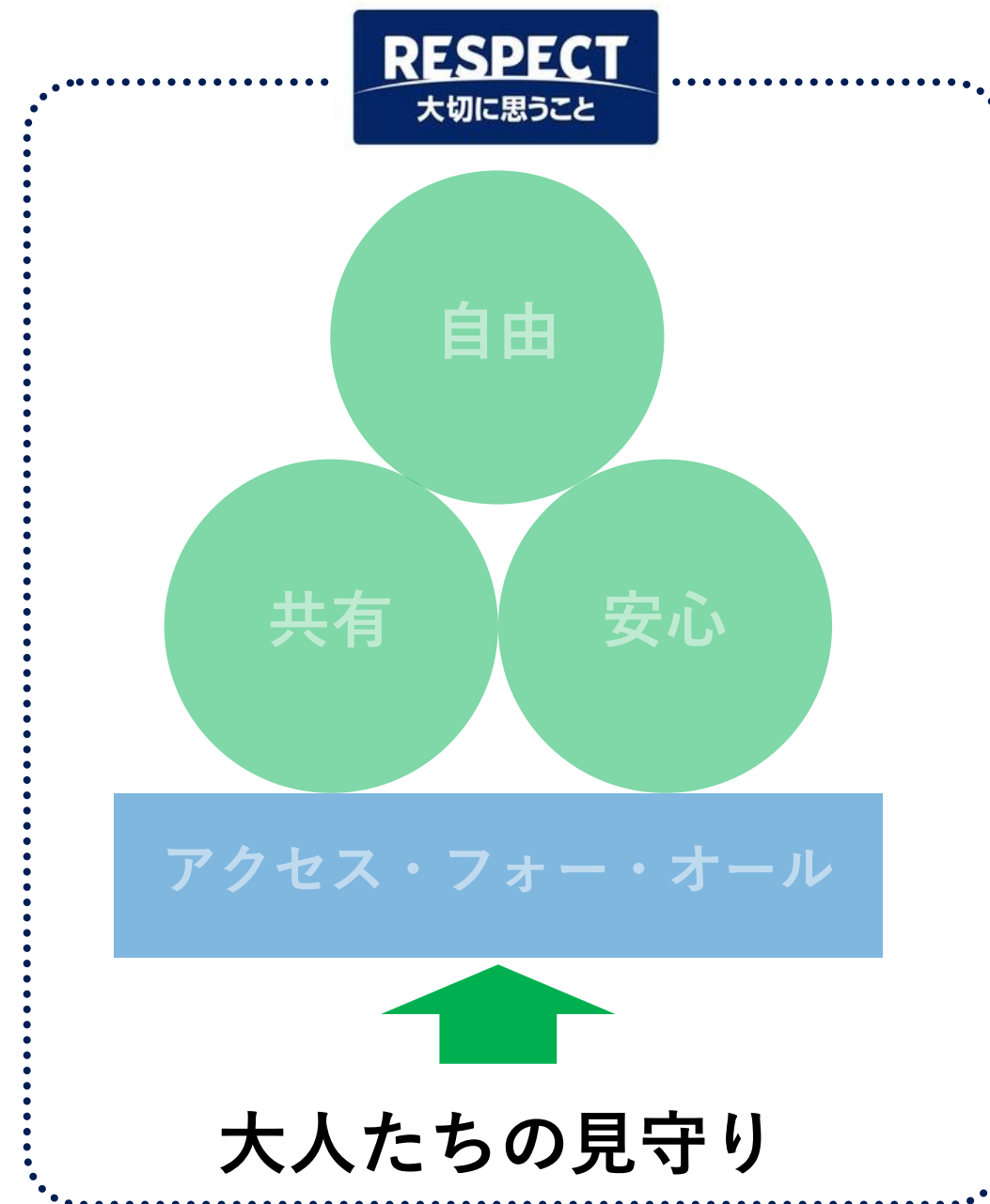
# アクセス・フォー・オール



「アクセス・フォー・オール」とは、障がいの有無、性別、国籍、年齢、性的指向、経済的格差などの多様な違いに関わらず、誰もがサッカーを楽しめることを目指す考え方です。  
この考えに沿ってキッズピッチを活用することで、互いを支え合うコミュニティの形成を図ることができます。

- ✓ 【チェックポイント】
  - 運営メンバーが『[アクセス・フォー・オールハンドブック](#)』を読み、内容を理解している。

# 大人たちの見守り



大人たちの関わりは、それ自体が子どもたちにとっての「環境」となり得ます。

ただし、それは「管理」ではなく、あくまで「見守り」であり、子どもたちが「頼りたい」と思った時に頼れる存在であることが望ましいです。そのような仕組みや関係性をつくる工夫が大切になります。

✓ 【チェックポイント】

- 大人たちの見守りの体制や姿勢について運営メンバーで話し合い、メンバー内で運営方針を共有している。

# よくあるQ&A

# よくあるQ&A

**Q. キッズピッチの設置や撤去には、どのくらい時間がかかりますか？**

**A. 初めて設置する場合は、大人数名で1時間30分程度が目安になります。  
設営に慣れた場合は、大人2名で1時間程度です。**

**Q. キッズピッチはどのような場所に設置できますか？地面には必ず人工芝が必要ですか？**

**A. 11m×15m以上ある平坦な土地が推奨されます。人工芝は必須ではありませんが、本プロジェクトは子どもが安全にスポーツを楽しむことが目的にあるため、地面においても安全性を確保いただく必要があります。**

**Q. 砂利・土・アスファルトなどに設置する場合、どのようにすれば安全性を確保できますか？**

**A. 厚みのある人工芝を敷くことで安全性を確保できる可能性があります。**

# よくあるQ&A

**Q. 子どもたちと設置するときに気をつけることはありますか？**

**A. 重たい部品や長い部品の扱いに特に注意して、大人と一緒に運搬・設置を行うようにしましょう。**

**Q. キッズピッチの事務局に、設置を依頼することはできますか？**

**A. いいえ。原則として、設置先の皆様で組み立てを行っていただきます。**

**Q. キッズピッチの壁パネルにイラストを描いたり、子どもの手形を押したりなどデコレーションすることは可能ですか？**

**A. 現状復帰できるならば可能です。壁パネルには、イベント開催時にご協賛企業のロゴ入りパネルを掲示いただくことも可能です。**

# よくあるQ&A

**Q. キッズピッチの使用料を有料にすることは可能ですか？**

**A. いいえ。原則として、使用料は無料で運営いただきます。ただし、地域活動のイベント出展など、有料で活用を希望する場合は、事前に事務局にご相談ください。**

**Q. キッズピッチの運営費のため、スポンサーを募ることは可能ですか？また、キッズピッチにスポンサー企業などのバナーを掲示することは可能ですか？**

**A. はい、スポンサーを募ることは可能です。一方で、キッズピッチにスポンサーバナーを掲示する場合は、助成元の日本財団および日本サッカー協会とは区別されていることが視認できるよう設置ください。**

# よくあるQ&A

Q. インクルーシブな活用とは具体的にどのようなことでしょうか？

A. 子どもと大人が年齢、ジェンダー、障害の有無、国籍、経済的格差に関わらず、安心して利用できるよう施設独自のガイドラインを定めて参加者に周知することや、多様な人が交流できるイベントの開催などが考えられます。

イベントの実例：

- ・ [JIFFインクルーシブフットボールフェスタ2023](#)

「まぜこぜサッカー」「障がい者サッカー体験会」「ウォーキングフットボール」など、交流・体験を通じて障がいのある人とない人が混ざるイベント。

- ・ [JFA なでしこひろば](#)

女の子から、お姉さんやお母さん、おばあちゃんまですべての女性がサッカーを気軽に楽しめるイベント。各地で開催され。未就学児対象や事前申し込み不要な場合もある。

## よくあるQ&A

**Q. 対象が未就学児および小学校 3 年生以下とのことですが、小学校高学年以上の子どもは利用可能ですか？**

**A. はい。利用可能です。ただし、高学年以上のお子さんが利用される場合は、支援対象となるお子さんを優先したり、利用時間を分けるなどのご調整いただきますようお願いいたします。**

**Q. 使用に際しての怪我や事故が起きた場合、報告する必要がありますか？**

**A. はい。怪我や事故の状況については、事務局へ報告いただくことを義務とします。**

**Q. キッズピッチでの怪我や事故に備えた保険加入は必要ですか？**

**A. はい、必要です。万一の事故に備え、適切な保険（スポーツ安全保険、施設賠償責任保険等）への加入は応募条件の1つです。**

# よくあるQ&A

**Q. 部品を紛失してしまった場合、部品だけ購入することはできますか？**

**A. 部品を紛失した場合は、事務局への連絡をお願いします。その後、対応について協議させていただきます。**

**Q. 台風などの自然災害の際も、そのまま設置していてよいですか。**

**A. いいえ。台風に限らず、強風や大雨による洪水などで、キッズピッチが飛ばされたり流されたりする可能性がある場合は、事前に移動または室内への収納をお願いします。**

**Q. キッズピッチは何年間設置することが必須ですか？**

**A. 約5年間の設置をお願いいたします。**

# よくあるQ&A

**Q. キッズピッチは、一定期間後に譲渡してもらえるのでしょうか？**

**A. 設置されたキッズピッチの所有権は、2032年3月まではJFAに帰属（JFA が貸与）します。2032年4月以降は、運営する法人に譲渡予定です。**

**Q. 譲渡いただいた後に、キッズピッチが不要になった場合はどうすればいいでしょう**

**A. 各自治体のルールに従って廃棄してください。廃棄費用は自己負担です。**

**Q. キッズピッチを増やしたい場合、どのように購入できますか？**

**A. まず事務局までご連絡ください。その後、購入方法についてご案内いたします。**

# セーフガーディングポリシーについて

キッズピッチの運営では、子どもや弱い立場の人々の尊厳を傷つけたり、危険にさらしたりすることのないよう、

[「JFA セーフガーディングポリシー」](#)に則った運営が求められます。

また、キッズピッチを利用する中で、セーフガーディングポリシーに反する事象や不安に感じる出来事があった場合は、キッズピッチ事務局までご連絡ください。

キッズピッチ事務局

メールアドレス : [team@lovefutbol-japan.org](mailto:team@lovefutbol-japan.org)

社会に、地域に、子どもたちの日常に、  
「いつでも自由に遊べる場所」を  
ともに増やしましょう！

問い合わせ先

[「キッズピッチ」お問い合わせフォーム](#)





# 利用レポート

# 利用レポート

## 組み立ての不備の例

### クロスバーの固定忘れ

フェンス柱のクロスバー受けを回して、金具でクロスバーを固定することを忘れるケースがある（右上図）。

クロスバー受けを固定し、クロスバーを確実に固定する（右下図）。



# 利用レポート

## 破損の例

### クロスバーの接続部分（L字部）の破損

#### 原因)

クロスバーを取り外す際に、クロスバー受けを回さずクロスバーが金具で固定されたまま、力づくで取り外そうとしたことにより、接続部分が折れてしまった。



# 利用レポート

## 利用時に起こりうる事象

- 軽いボールを使用したり、力の強い子ども（小学校高学年以上など）が利用する際に、**ボールがフェンスを越して外に飛び出ることがある。また、蹴ったボールが小さい子に当たりトラブルになる危険性がある。**
  - 年齢に応じて利用時間を分けるなどの対応が考えられる。
- サッカー経験者や小学校高学年以上の子どものスピードや強いキックを見て、**サッカー未経験の子どもや未就学児・低学年の子どもが引いてしまうケースがある。**
  - 年齢を分けて利用する際は、年齢が低い子どもから優先するなどの工夫が必要。